副産物システムの最近の取り組みと新サービスの概要

2023年11月8日
建設副産物情報センター

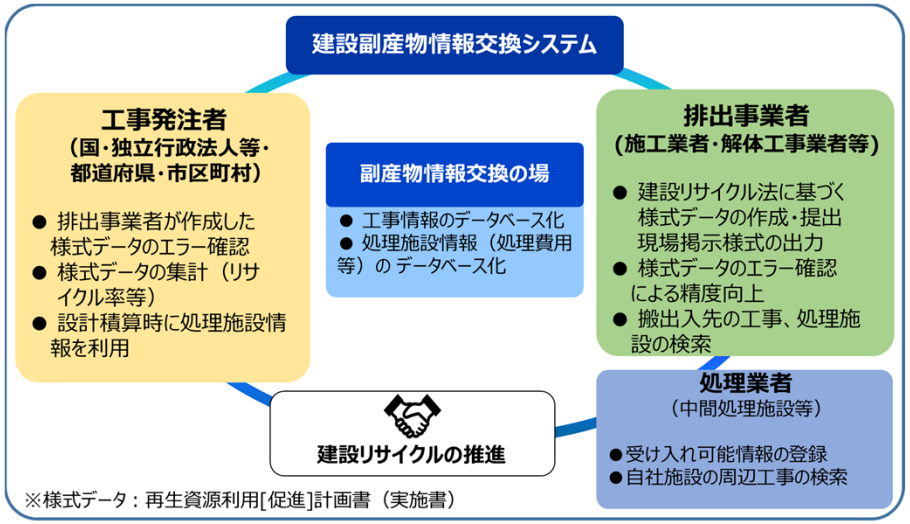
目 次

１．建設副産物情報交換システム（COBRIS）の概要
２．建設発生土情報交換システムの概要
３．建設発生土の官民有効利用マッチングの概要
４．COBRISの最近の取り組み
５．新サービスの概要

1．建設副産物情報交換システム（COBRIS）の概要

建設リサイクルの推進に必要な建設副産物の発生、再利用などに関する最新情報の登録・検索、必要な様式が出力できるシステム

建設副産物情報交換システム（COBRIS）のイメージ



（特長）
・提出書類の確認事務の簡素化
・チェックリストによるデータの精度向上
・簡易センサス業務の効率化、精度向上
・建設副産物の状況の把握

利用状況（機関数）　　令和5年3月末

国の機関	独立行政法人等	都道府県	政令指定都市	市区町村	その他	排出事業者
20	5	38 (9月現在は39)	18	400	43	50,456

1．建設副産物情報交換システム（COBRIS）の概要

COBRISの位置づけ

・建設リサイクル推進計画2020：
「公共工事の発注者の責任において、建設副産物にかかわる情報を入力・管理し、その意識の向上を図る」

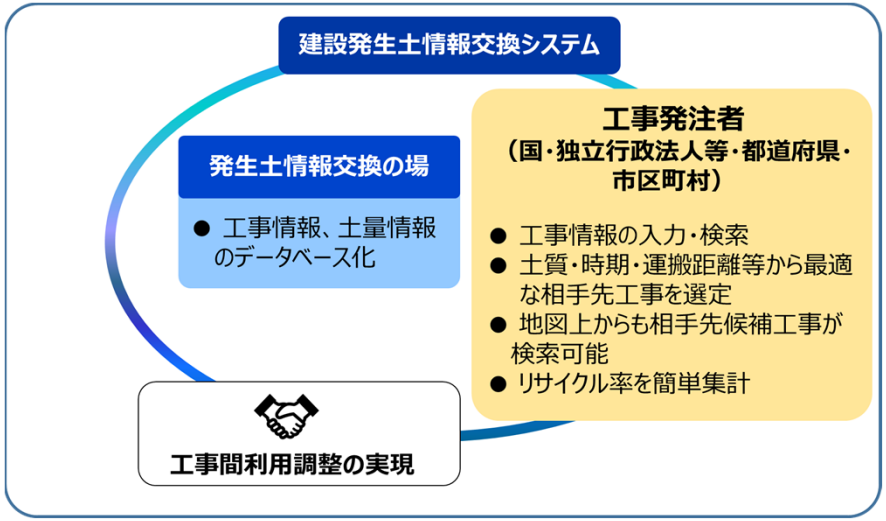
・工事共通仕様書：
土木工事共通仕様書等にCOBRISへデータ登録することの記載
✓ 国土交通省の土木工事共通仕様書にCOBRIS入力の記載（H30年3月～）
✓ ４０都道府県の共通仕様書にCOBRIS入力の記載（R5年9月現在）

（国土交通省の土木工事共通仕様書の記載　令和5年3月版）
７．建設副産物情報交換システム
　コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物、建設発生土を搬入、搬出する場合には、施工計画作成時、工事完了時に必要な情報を建設副産物情報交換システムに入力するものとする。

2. 建設発生土情報交換システムの概要

国、地方公共団体等の工事発注者が建設発生土を有効活用するために必要な情報を交換し、建設発生土のリサイクルを推進することを目的としたシステム

建設発生土情報交換システムのイメージ



（特長）
・発生土データをリアルタイムで掲載でき、情報の鮮度が高い
・地図検索により発生土動向のニーズがひと目でわかる
・公共工事土量調査でのデータ利用が容易になる

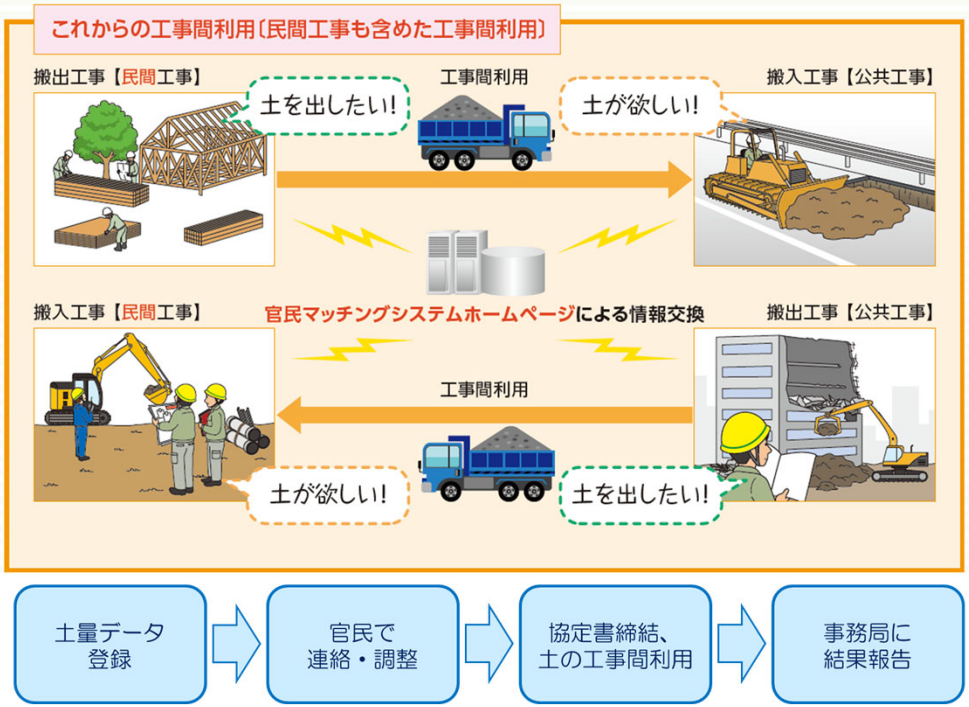
利用状況（機関数）　　令和5年3月末

国の機関	独立行政法人等	都道府県	政令指定都市	市区町村	その他
19	6	32	9	140	8

3. 建設発生土の官民有効利用マッチングの概要

建設発生土の官民有効利用マッチングは、 公共工事と民間工事間で建設発生土の有効利用を推進する取組み

官民マッチングのイメージ



（特長）
・官民の建設発生土を工事間利用することで互いに有効利用
・建設発生土の処分・調達に関する費用を削減

※官民マッチングシステムは国土交通省が実施し、JACICは事務局の運営を支援しています

4．COBRISの最近の取り組み

・「資源有効利用促進法」の省令改正：

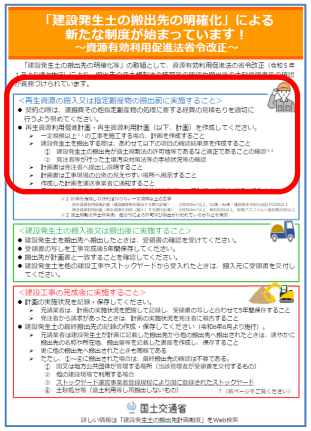
⇒ COBRISの改良：「現場掲示様式」の出力が可能
（令和5年3月9日～リリース済）

⇒ COBRISの改良：「確認結果票」を受発注者間で共有可能
（令和5年度内リリース予定）

4. COBRISの最近の取り組み

現場掲示様式と確認結果表について

国交省「建設業者向けチラシ」

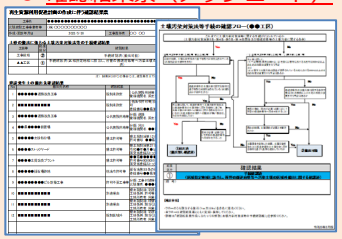


「建設発生土の搬出先の明確化」による新たな制度が始まっています！（一部抜粋）

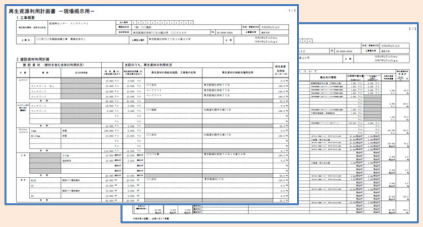
- 再生資源利用促進計画・再生資源利用計画（以下、計画）を作成してください。
  - ➢ 一定規模以上の工事を施工する場合、計画を作成すること
  - ➢ 建設発生土を搬出する際は、あわせて以下の項目の確認結果票を作成すること
    - ① 建設発生土の搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることの確認
    - ② 発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続状況等の確認
  - ➢ 計画書は発注者へ提出し説明すること
  - ➢ 計画書は工事現場の公衆の見えやすい場所へ掲示すること

上記内容の様式は、COBRISで対応することができます

● 確認結果票（アップロード）



● 現場掲示様式（自動作成・出力）



5. 新サービスの概要

一体的なサービスとして全面リニューアル

建設副産物情報交換システム（COBRIS）／建設発生土情報交換システム
サービスを開始し約20年が経過

・
・
・

<u>より使いやすいサービス提供を目指して</u>
システムを抜本的に見直し、リニューアルします

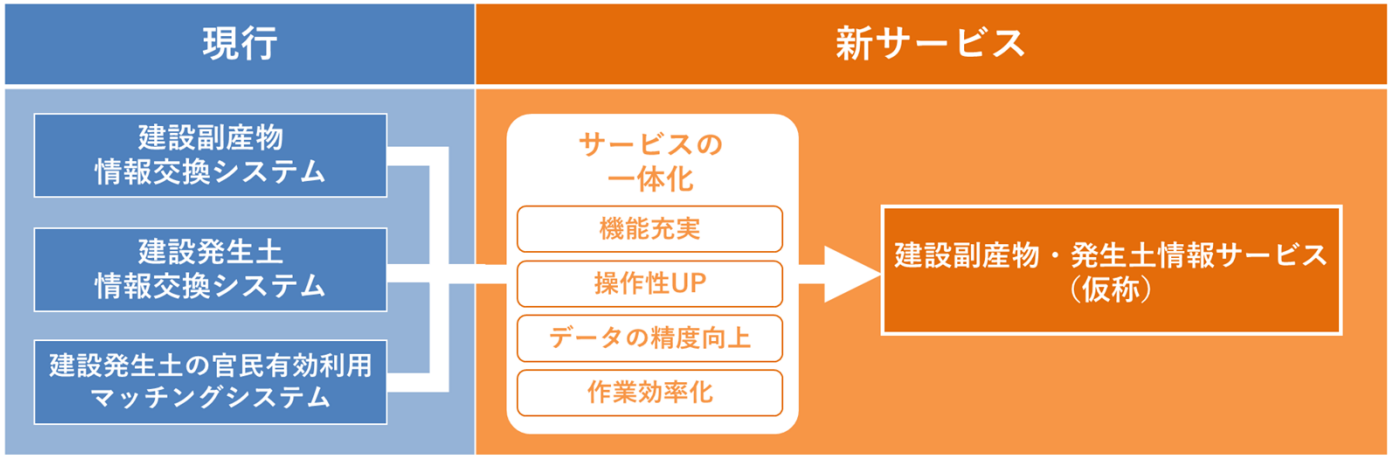
「建設副産物・発生土情報サービス（仮称）」
2025年度中にリリース予定

5. 新サービスの概要

一体的なサービスとして全面リニューアル

３つのサービスの一体的なサービスを開始予定

１つの契約、1つのIDですべてのサービスを利用できます



他にも・・

✓デザイン、操作性の見直し

✓機能の充実 等

5. 新サービスの概要

主なリニューアル内容例

・チェック機能の強化によるデータ精度向上

・各種の法令に対応した帳票を簡単に作成

・受注者間の横断的な業務フローを支援

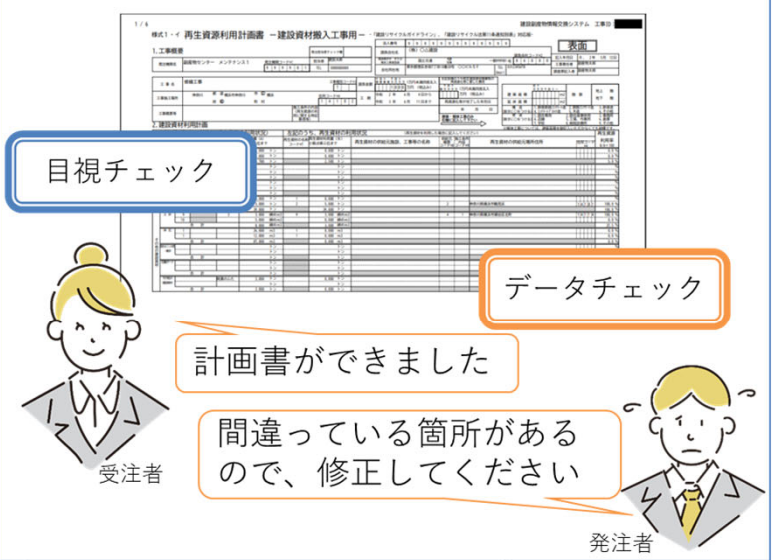
・官民マッチングシステムの一体化

5. 新サービスの概要

主なリニューアル内容例

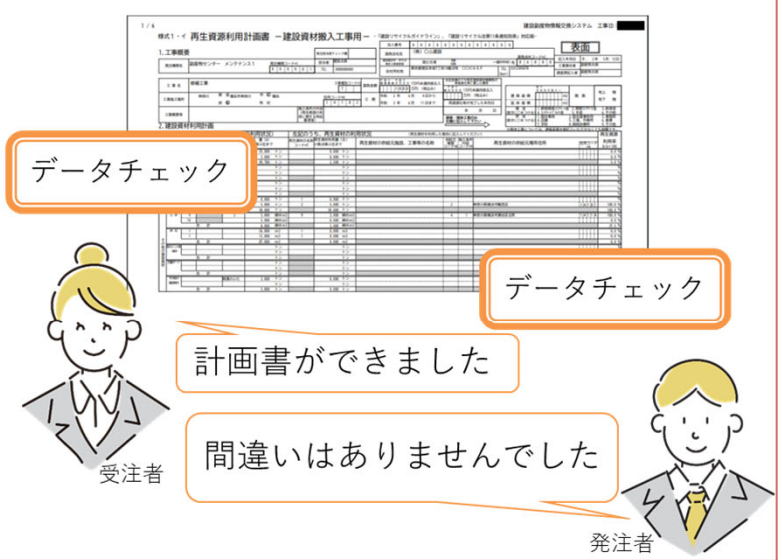
・チェック機能の強化によるデータ精度向上

今まで



☆受注者はチェックしなくてもデータ登録できる
☆発注者は受注者がチェックしていないデータを
　確認する場合がある

これから



★受注者はデータチェックを行ってから登録する
★発注者は受注者がチェック後、確認する
　⇒ダブルチェックによる精度向上

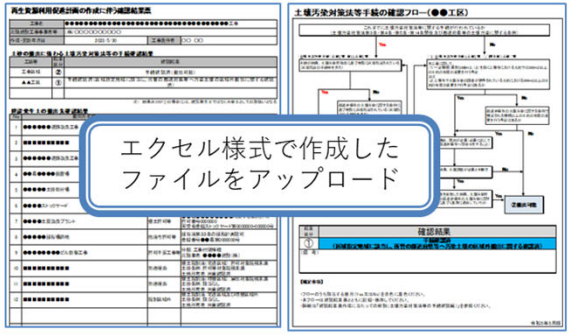
5. 新サービスの概要

主なリニューアル内容例

・各種の法令に対応した帳票を簡単に作成

今まで

● 確認結果票（盛土規制法・土壌汚染対策法の確認）

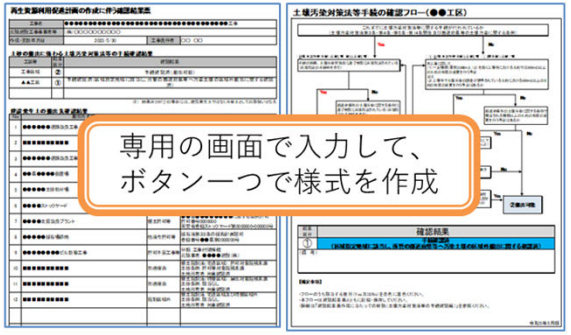


エクセル様式を作るのが面倒

☆盛土規制法・土壌汚染対策法等の確認結果票は
エクセル様式で作成する必要あり

これから

● 確認結果票（盛土規制法・土壌汚染対策法の確認）



入力や確認が簡単

★確認結果票を画面に従って操作することで作成
★データ記入の漏れ削減

おわりに

多くの地方公共団体がCOBRISにデータを登録されますと
それだけモニタリング調査の精度も向上します

発生土システムと官民マッチングシステムにつきましても
より多くの土量情報が登録されますと、工事間利用の機会が
増えます

ぜひ、積極的なご利用をお願いします